

9/22

- ・4 参加資格に人数を追加しました。
- ・2.1帆走指示書の公示日変更しました。

9/17

クラス分け カテゴリー2のクラスはFevaXLのみといたしました。

9/16 更新

10.6 セールナンバーと艇体ナンバーが異なる場合を追加しました。

9/14 更新

- ・6.1エントリーフォームオープンしました
- ・3.1オンライン掲示板オープンしました
- ・7.5支払い方法を変更しました
- ・2.1帆走指示書の公示日変更しました

レース公示

RS JAPAN OPEN 2023 兼 第1回RS aero全日本選手権
公認番号 JSAF(申請中)

主催・協賛
主催 日本RSクラス協会
協力 葉山セーリングカレッジ

後援 葉山町

大会日程:2023年11月16日(木)~19日(日)
(予備日11/20(月))

場所:神奈川県葉山町 森戸海岸

「規則の表記」

【NP】この規則違反は艇による抗議の理由にならない事を示す。これはRRS60.1(a)を変更している

1. 規則

1.1 本大会はセーリング競技規則2021-2024(以下RRSという)に定義された規則を適用する。

2. 帆走指示書

2.1 帆走指示書(SAILING INSTRUCTIONS)は、以下のurlで入手できる。

https://docs.google.com/document/d/e/2PACX-1vS01EAbbp52bjaYHEhZ9S5VWXA_19fHBvbM3k470Wkunuz7g8oH0WgHPQCKCBOJKzxxWkSd7G4hFAMlp/pub

3. コミュニケーション

3.1 オンラインの公式掲示板は下記URLに設置する。

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/7087/event?name=rs-japan-open-2023-and-the-1st-rs-aero-all-japan-championships>

4. 参加資格

4.1 参加選手は所属する各国のRSクラス協会に、2023年の登録を済ませた者に限る。

4.2 日本国内の参加選手は2023年度JSAF会員登録済みの者に限る。

<https://www.jsaf.or.jp/hp/membership/account>

4.3 ダブルハンド艇のエントリー登録はヘルムス 1 名、クルー2名以内とする。

4.4 シングルハンド艇のエントリー登録は1 名とする。

5. クラス分け

5.1 大会は以下のクラスに分けて開催される

RS JAPAN OPEN 2023(RSクラス)

- ・category1
- ・category2

第1回RS aero全日本選手権(aeroクラス)(JSAF公認大会)

- ・aero5
- ・aero6
- ・aero7

5.2 参加出来る艇種は次の通りとする

(1) RS JAPAN OPEN 2023 (category1)

- RS Zest
- RS Tera
- RS Quba
- RS Feva sport/XL (single hand)
- RS Feva sport/XL (without a gennaker)
- RS Quest (without a gennaker)

(2) RS JAPAN OPEN 2023 (category2)

RS Feva XL (COMPLETE)
RS 100
RS 200
RS 300
RS 400
RS 500
RS 600
RS 700
RS 800
RS 900
RS Vareo/Fun
RS Vision
RS Quest (COMPLETE)
RS Venture
RS Toura

(3) 第1回RS aero全日本選手権 (JSAF公認大会)

参加出来る艇種は次の通りとする

RS aero 5
RS aero 6
RS aero 7

5.3 RS JAPAN OPEN <category1>、<category2>の艇には、レーティングシステムが適用される。

6. エントリー

6.1 エントリー方法

参加資格のあるものは下記エントリーフォームを記入して、日本RSクラス協会事務局宛てに提出することで参加申し込みする事ができる。

・RS JAPAN OPEN 2023 [エントリーフォーム](#)

・RS aero 全日本選手権 [エントリーフォーム](#)

6.2 エントリー期間は

・アーリーエントリー期間を9/15(金)～10/5(木)
・エントリー期間を10/6(金)～10/25(水)
までとする。

6.3 エントリー締切日以降のレイトエントリーは10/26(木)～11/15(水)までとする。

6.4 エントリー完了とみなされるためには、参加料の支払いを終える必要がある。

6.5 エントリー手続きは競技者本人が行うこと。

6.6 未成年者はエントリー時に保護者の同意書を提出すること。

7. 参加料

7.1 参加料は以下の通りとする

アーリーエントリー料金(9/15～10/5)

- ・一般12,000円
- ・学生(22歳以下)8,000円

エントリー料金(10/6～10/25)

- ・一般16,000円
- ・学生(22歳以下)12,000円

レイトエントリー料金(10/26～11/15)

- ・一般20,000円
- ・学生(22歳以下)16,000円

7.2 参加料の返金を行わない。

(ただし自然災害などで予備日を含む大会の全日程が中止となった場合を除く)

7.3 サポート艇の登録料は、1艇15,000円とする。

7.4 その他、パーティの参加費などは別途とする。確定したい料金を記す。

7.5 支払いはエントリーフォーム送信後に個別に送られる、支払いページに従って行う。

8. 広告

8.1 World Sailing広告規程に基づいて、主催団体により支給された広告を表示するよう要求されることがある。

8.2 World Sailing広告規程に基づいて、艇への競技者の広告を制限する場合がある。

9. スケジュール

・11月16日(木)

15:00～16:00 受付開始 登録・計測・チャーター艇引き渡し

・11月17日(金)

13:00～14:00 受付 登録・計測・チャーター艇引き渡し

14:00～ 練習レース(1レースのみ)

17:30～19:00 ウェルカムドリンクミーティング

・11月18日(土)

(8:00～8:30 予約のみ 登録・計測・チャーター艇引き渡し)

9:00 開会式&スキッパーズミーティング

9:40 出艇許可の予定

10:20 予告信号 (RS aeroクラス／その他クラス)

※一日最大4レース

16:00 以降スタートのレースは実施しない

18:00(仮) 懇親パーティ

・11月19日(日)

8:30 出艇申告受付

9:00 出艇許可の予定

9:40 予告信号 (RS aeroクラス／その他クラス)

※一日最大4レース

15:30 以降スタートのレースは実施しない

17:00(仮) 表彰式・閉会式

※2日間トータルで最大6レース

(11月20日 予備日)

10. 計測

10.1 大会に参加する競技者は、使用する艇体とセールについて、本大会の計測を受けなければならない。計測実施後は「大会計測済みスタンプ」の確認を受ける事がある。

10.2 [DP]艇は検査時点でRRS78.1に適合していなければならない。

10.3 事前計測は2023年11月8日以降に行われる。

10.4 計測実施後は艇の改造・修理を行ってはならない。またセールを変更してはならない。

10.5 計測実施後に艇やセールに破損が生じた場合は、テクニカル委員会の許可を得て修理を行わなければならない。

10.6 セールナンバーと艇体番号が異なる場合、エントリーの際にその旨をフォームに記入し、テクニカル委員会の許可を得ること。この記述はクラスルールA10を変更している。

11. 開催地

葉山セーリングカレッジおよび森戸海岸

(神奈川県三浦郡葉山町堀内939-13)

📍 Hayama Sailing College

レース海面はE海面

(森戸海岸沖)

<https://www.kanagawa-sailing.org/single-post/%E7%9B%B8%E6%A8%A1%E6%B9%BE%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%82%B9%E6%B5%B7%E9%9D%A2%E5%9B%B3>

12. コースおよびスタート方法

12.1 詳細は帆走指示書に示す。

13. ペナルティ

13.1 RRS付属規則P「規則42の特別手続き」を適用し、P2.1およびP2.2を変更し、P2.3を以下のように削除する。

13.2 P2.1を以下に変更する。

競技中に第1ペナルティまたは第2ペナルティとして規則P2.1に基づくペナルティを受けた場合、その艇のペナルティは規則44.2に基づく2ターンペナルティとする。ペナルティを受けなかった場合、審問なしに失格とする。

13.3 P2.2を以下に変更する。

競技中に3回目以降のペナルティを受けた艇は、速やかにリタイアしなければならない。これを怠った場合、艇は審問なしに失格となり、得点は除外されない。

13.4 P2.3を削除する。

14. 得点

14.1 RS JAPAN OPEN 2023の「category1」「category2」についてはレーティングシステムを採用し、日本RSクラスのレーティングを用いてフィニッシュタイムに修正を行う。修正された時間に基づいて順位を決め、低得点方式を採用する。

14.2 RS aero全日本選手権の「aero5」「aero6」「aero7」については着順に基づいて順位を決め、低得点方式を採用する。

14.3 1レースの完了で本大会は成立する。

14.4 シリーズの最大レース数は6レースとする。

14.5 シリーズ得点は、

・成立したレースが3レース以下の場合すべてのレースが得点としてカウントされる。

・4~6レースが成立した場合は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計となる。

これは規則A2.1を変更している。

合計得点と同じ場合は規則A8に基づいてタイの解除を行う。

15.〔DP〕支援艇

15.1 すべての支援艇は、事前に大会事務局に以下の事項を連絡し、登録料の支払いを行うこと。

- ・操縦者の氏名
- ・当日、海上で連絡が取れる連絡先
- ・支援艇の特徴
- ・支援艇の船検証のコピー
- ・支援する競技者の氏名とセイル番号
- ・事故などの際の緊急連絡先

15.2 支援者はレース公示の付則1に記載されている「支援艇に関する規則」に従うこと。

15.3 支援船はキルコードを使用し、乗組員全員が適切なPFDを着用すること。

16. リスク声明

RRS3にはこうある：

『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある』

本大会に参加するにあたり、各競技者は、セーリングが固有のリスクを伴う潜在的に危険な活動であることに同意し、これを認めるものとする。

これらのリスクには、強風や荒波、天候の急変、用具の故障、ボートの操船ミス、他のボートによる不十分なシーマンシップ、不安定なデッキでのバランス喪失、怪我のリスクを高める疲労などが含まれる。

セーリングというスポーツには、溺死、外傷、低体温症、またはその他の原因による永久的な大怪我や死亡のリスクが内在しています。

したがって、レガッタに参加するかどうか、レガッタを継続するかどうか、あるいはレガッタを断念するかどうかは、競技者とその支援者が自らの能力、風の強さ、海の状態、天気予報、その他専門セーラーによって予測されるあらゆることに基づいて決定する責任があります。

主催者および本大会に協力する者は、本大会に参加した結果、陸上および海上の人および物が被った損害について、いかなる責任も負わないものとする。

17. 保険

17.1 各参加艇は、インシデント毎に最低1億円を保証するか、または同等の、有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

18.[DP][NP]ゴミの処理

基本原則にはこうある：

『参加者には、セーリング・スポーツが環境におよぼすいかなる悪影響も、最小限にすることが奨励される』

従って、すべてのセーラーは大会前、大会中、大会後にRRS47「ゴミの処理」に従うことが求められる。

このルールは海上のいかなる場所でも常に適用される。

この規則違反に対する罰則は、失格よりも軽い場合がある。

19. 賞状

各クラスの優勝者には賞状が授与される。

20. 問い合わせ先

日本RSクラス協会事務局

MAIL: info@rs-association-japan.com

※チャーター艇を希望される方は、葉山セーリングカレッジまでお問い合わせください。

- ・RSaero
- ・RS Tera
- ・RS Quba
- ・RS Zest
- ・RS Feva
- ・RS Quest
- ・RS200
- ・RS500

葉山セーリングカレッジ

TEL: 046-877-5399

MAIL: hsc@sailco.com

charter enquiries may be made by email to; hayamaseaclub@gmail.com (Tomo Suzuki)

付則-1 [DP][NP] 支援艇に関する規則

・競技者の支援に関するまえがき

基本原則:

スポーツ行動とルール

セーリングというスポーツでは、競技者は一連のルールに支配され、それを遵守し実施することが求められる。

スポーツマンシップの基本原則は、艇がルールを破り、それが免責されない場合、速やかに適切な罰則または適切な処置を取らなければならないということである。

上記の原則は、ヨットの教育者が、その具体的な任務が何であれ、学習者に伝えるべき最初の教えである。

若い人たちにそれを教えることは基本である！

A.1 支援艇がレースエリア付近での航行許可を得るためには、どの艇をサポートしているかを事前に申し、

『支援艇に関する規則』を受諾していることを証明しなければならない。

レースの予告信号の掲揚からスタート手続き中(つまり全てのレースがスタートするまで)、艇はスタートラインから少なくとも50m風下に

いなければならない。

A.2 規則に違反した行動は、罰則をもって制裁されることがある。

A.3 上記A.1に加え、レース中、支援艇はレースエリアから十分に離れた左舷側を通って風下から移動することができる。

支援艇はフィニッシュライン付近を通過したり、停止してはならない。

レース委員会委員またはプロテスト委員が支援艇にレース区域から離れるように指示した場合、支援艇は直ちにそのようにしなければならない。

ただし、困難な状況にある艇に援助や救助を行う必要がある場合はこの限りではない。

A.4 競技者は、あるレースのフィニッシュから次のレースの予告信号の掲揚までの間、自艇の支援艇にのみ近づくことができる(前項A.1参照)

A.5 すべての支援艇は、安全運行において、すべての競技者に最大限の配慮をしなければならない。

A.6 海上で連絡がとれる電話番号を大会事務局に登録すること。

A.7 すべての支援艇の乗員は、海上にいるときは常にPFDを着用しなければならない。